

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年07月30日

計画の名称	千葉市地域住宅等整備計画(一期)											
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)											
交付対象	千葉市											
計画の目標	<p>『子どもから高齢者まで安全で安心して住み続けられる住まい・まちづくりを実現する』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅セーフティネットの構築 ・良質な住宅ストックの形成 ・良好な居住環境の形成 											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	5,311	A	5,011	B	0	C	300	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	5.64%

番号	計画の成果目標(定量的指標)				定量的指標の現況値及び目標値			
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値	
					(H27当初)	(H29末)	(H31末)	
1	住宅セーフティネットの確保(住宅のバリアフリー化率の向上)	千葉市営住宅管理データを基に算出する 市営住宅のバリアフリー化率 = H6年度以降の建設(建替え含む)戸数/市営住宅総管理戸数	13%	%				18%
2	公営住宅等の長寿命化対策(長寿命化計画の達成率の増加)	千葉市営住宅管理データを基に算出する 一定のバリアフリー化戸率 = 玄関・浴室・トイレに手摺を設置した戸数/中層耐火構造市営住宅管理戸数	39%	51%				69%
3	建築基準法の道路について的確な情報提供を行い、適切な建築行為の実施を誘導する。	建築基準法道路図及び指定道路調査整備率 道路図・調査整備率 = (建築基準法道路図整備延長+指定道路調査整備延長)/(建築基準法道路延長+指定道路延長)	0%	%				77%
4	狭あい道路の解消(交通安全の確保、生活環境の改善、消火活動及び救急活動の向上に資するため、継続的に拡幅整備を行う。)	狭あい道路の拡幅整備について、一定の持続的実績の確保(総延長345kmに対し、おおむね年間500m)を目指す。	4%	4%				4%
5	狭あい道路の解消(交通安全の確保、生活環境の改善、消火活動及び救急活動の向上に資するため、継続的に拡幅整備を行う。)	狭あい道路の拡幅整備について、一定の持続的実績の確保(総延長345kmに対し、おおむね年間500m)を目指す。	13000m	14000m				15500m
6	主要な幹線道路(県道・街路)と連絡する道路網の整備により、住宅宅地事業区域内からの移動の円滑化を図り、住宅宅地への入居を促進する。	住宅宅地事業区域内の居住人口の増加	23900人	人				25100人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況	
		H27	H28	H29	H30	H31														
		一體的に実施することにより期待される効果											備考							
地域住宅計画に基づく事業	C15-001	住宅	一般	千葉市	直接	市	-	-	市営住宅関連事業（宮野木町第2団地） 1-C1-1	市営住宅の建替え等関連（道路及び駐車場の整備、移転補償等）	千葉市						111		-	
		1-A1-1と一體的に実施することにより、市営住宅建替え事業の円滑な推進が図れる。																		
	C15-002	住宅	一般	千葉市	直接	市	-	-	市営住宅関連事業（小倉台団地） 1-C1-2	市営住宅の建替え等関連（道路及び駐車場の整備、移転補償等）	千葉市						186		-	
		1-A1-1と一體的に実施することにより、市営住宅建替え事業の円滑な推進が図れる。																		
	C15-003	住宅	一般	千葉市	直接	市	-	-	市営住宅関連事業（福祉対応型改善） 1-C1-4	市営住宅の改善等関連	千葉市						3		-	
		1-A1-1と一體的に実施することにより、市営住宅改善事業の円滑な推進が図れる。																		
													小計					300		
													合計					300		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
交付対象事業の事業所管課が、各々の要素事業等について事後評価を行い、計画全体の評価を行ったうえで市民に公表する。 公表期間は2週間とし、意見があった場合は市から回答する。	令和3年6月
事業効果の発現状況	
定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>【指標1】桜木町団地、宮野木町第2団地及び小倉台団地において、241戸をバリアフリー化することによって、居住性の向上を図ることができた。</p> <p>【指標2】住戸改善について、605戸、住戸内手すり設置について、186戸実施し、住戸のバリアフリー化を図ることができた。</p> <p>【指標3】建築基準法の道路について的確な情報提供を行い、適切な建築行為の実施を誘導することがスムーズとなった。</p> <p>【指標4・5】狭い道路における交通安全や、災害時の避難の妨げ、消火活動や救急活動の遅れ等を、道路を拡幅することで解消した。</p> <p>【指標6】大膳野町誉田町線の整備を行った結果、（都）塩田町誉田町線と（主）千葉大網線に接続したことで、千原台地区周辺へのアクセスが向上した。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・1-A1-1 市内全域の空家等について実態調査を行い、実態を把握することで、空き家対策の進捗が図られた。 ・1-A1-1 マンション等に対する再生支援や、住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への入居支援、空家等も含めた住まいに関する情報提供を実施することで、居住支援体制を整備することができた。
特記事項（今後の方針等）	
<p>【指標1】引き続き、長寿命化計画に基づき、入居者の高齢化等に対応した市営住宅の整備を行い居住性の向上を図っていく。</p> <p>【指標2】引き続き、長寿命化計画に基づき、玄関・浴室・トイレに手摺を設置し住戸のバリアフリー化を図っていく。</p> <p>【指標3】指定道路調査の整備を継続して実施していく。</p> <p>【指標4・5】狭い道路の拡幅整備を継続して実施していく。</p> <p>【指標6】大膳野町誉田町線については、千葉市地域住宅等整備計画に基づく千原台住宅市街地基盤整備事業の継続事業として整備を行い、H28年度に（主）千葉大網線と接続し完了した。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	目標値 / 実績値
		目標値と実績値に差が出た要因
1	【指標 1】市営住宅におけるバリアフリー化実施率	
	最終目標値 18%	長寿命化・再整備計画の改訂により、一部建替対象団地が用途廃止へ位置付け変更され、建替戸数が減少したため。
2	【指標 2】市営住宅における一定のバリアフリー化実施率	
	最終目標値 69%	住戸改善は空家に伴う修繕であり、空家となる件数が目標より低かったため、目標値を下回った。
3	【指標 3】建築基準法道路図及び指定道路調書の整備率	
	最終目標値 77%	整備すべき路線の調書作成が目標よりも順調に進んだため。
4	【指標 4】狭あい道路の総延長に対する拡幅整備延長の割合	
	最終目標値 4%	目標値と概ね同様
5	【指標 5】狭あい道路の総延長に対する拡幅整備延長の割合	
	最終目標値 15500m	目標値と概ね同様
	最終実績値 15700m	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
6	【指標 6】住宅宅地事業区域内における居住人口の増加		道路整備により主要な幹線道路（県道、街路）と接続したこと、千葉市中心部と大網白里方面および千原台地区がつながり、相互のアクセス性が向上した。これが一因となり、住宅宅地事業区域内からの移動の円滑化を図ることができ、居住人口の目標値を上回る成果となった。
	最終目標値	25100人	